

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第247回)

日時 平成29年2月27日(月) 午後1時半～3時半
場所 参議院議員会館 1階 102会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、
永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、
午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。そ
の時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにて
お待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会
議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について想う
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、平成28年中における交通死亡事故の特徴について
 - 3、農耕作業用自動車の交通事故防止の推進について
 - 4、交通事故統計(1月末及び2月26日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る1月24日開催の第246回交通部会は、松本治男部
会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長から、「本年に期待する交通事故対策」と題
して開会挨拶がありました。平成28年中の交通事故死者数は、死
者数4千人を切るという大きな成果を挙げた。この数字は、昭和2
4年以來のことで、車両台数も今より遥かに少ない時代であったか
ら、驚異的である。次の目標は、第10次交通安全基本計画の死者
数2千5百人以下と、人口10万人当たりの死者数世界一達成であ
る。高齢者の構成率はわずかながら上がっており、重点目標は引

き続き高齢者事故対策であろう。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「平成28年中の交通事故死者数」について解説がありました。平成28年中の交通事故死者数は3904人で、前年比213人の減少となった。うち高齢者は2138人で、構成比は54.8%と前年より0.2%上昇した。飲酒死亡事故は213件あり、厳罰化以来、初めて増加した。また、部会前日（1月23日）までの死者数は217人で、前年比58人の減少と、本年に入っても減少傾向は続いている。

次に、「高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議の開催」について解説がありました。死亡事故の件数は減少しているが、高齢運転者による死亡事故の構成比は上昇し続けている。また、高齢者の免許保有者の割合も上昇を続けている。こうした背景から、高齢運転者の交通事故防止について、内閣府に交通対策本部が設けられた。その下部の高齢運転者交通事故防止対策ワーキングチームに対し、有識者等の意見を聞き、その結果を報告する機関として有識者会議が本年1月より開始された。高齢者による死亡事故を細かく分析すると、都市部では高齢者による死亡事故の割合は比較的少ないが、地方では多くなる傾向にある。また、運転免許の返納率は都市部では多いが、地方では生活に支障が出るためか、返納率は低い。また、平成27年にブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いによる死亡事故は58件起きているが、そのうち50件は高齢者によるものであった。有識者会議では、自動車の先進技術を生かす。免許を返納しても生活に支障が出ない交通網の整備などが中心議題となりそうだ。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、有意義な会合となりました。

★ 資料代 500円
次回、2月27日（月）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____

電話 _____

テロ対策への警備から、非会員で参加希望の方は、必ず、前日までに事務局へ御連絡下さい。

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

H P <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp